

間質性肺炎における右室機能とCT重症度・予後との関係（後ろ向き調査）

研究の概要

心筋梗塞や心筋症に伴い生じる「左心不全」は、循環器疾患における入院理由の多くを占めており、その重症度評価は経胸壁心エコー図検査、心臓カテーテル検査、MRIなどを用いて行われ、広く普及している。一方で、肺疾患や肺動脈性肺高血圧症により生じる「右心不全」に関する評価方法は限られており、特に間質性肺炎を始めとする肺疾患における右室負荷の程度を調査した研究はほとんどありません。当院では、経胸壁心エコー図検査を用いて様々な右室機能指標を計測することが可能であり、さらに数多くの間質性肺炎患者さんを診療していることから、肺疾患と右室機能に関して解明したいと考えております。

患者さんをお願いしたいこと

基本的には過去の日常臨床で行われた検査結果の調査です。研究のためにこれから患者さんの負担となるような行為はありませんし、この調査の対象となっていることによって、研究的な投薬や治療が行われることはありません。

研究内容の開示について

研究計画書や、研究に関する資料は、他の患者さんの個人情報保護に抵触しない限り閲覧が可能です。

研究結果の発表について

本研究の結果が、学会や医学誌で発表される場合がありますが、患者さんの氏名、生年月日、住所などの、個人を特定できる情報、プライバシーにかかわる情報は一切公開されません。また、研究の途中過程においても匿名化され、これらの情報が漏れることのないように細心の注意を払っております。

研究の拒否について

上記条件に該当する患者さんの中で、本研究への協力を拒否される場合は、いつでも参加を取りやめることができます。その際、下記に記しました循環器内科・天野まで御一報ください。なお、拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

研究組織、研究責任者

当院における研究責任者：天理よろづ相談所病院 循環器内科 天野 雅史・泉 知里・中川 義久

問い合わせ先

天理よろづ相談所病院 循環器内科
住所：〒632-8552 奈良県天理市三島町200番地
電話番号：0743-63-5611